



## 2022年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年5月10日

上場会社名 助川電気工業株式会社  
 コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 小瀧 理  
 (氏名) 深澤 優  
 TEL 0293-23-6411  
 配当支払開始予定日 2022年6月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期第2四半期の業績(2021年10月1日～2022年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	2,414	25.5	332	82.9	330	76.2	228	76.7
2021年9月期第2四半期	1,923	18.8	181		187		129	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第2四半期	38.96	
2021年9月期第2四半期	22.05	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	6,811		3,642			53.5
2021年9月期	6,376		3,498			54.9

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 3,642百万円 2021年9月期 3,498百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		12.00		12.00	24.00
2022年9月期		13.00			
2022年9月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,539	22.7	472	61.3	474	64.1	321	61.0	54.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期2Q	5,870,000 株	2021年9月期	5,870,000 株
期末自己株式数	2022年9月期2Q	1,540 株	2021年9月期	1,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期2Q	5,868,477 株	2021年9月期2Q	5,868,480 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9
生産、受注および売上の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2021年10月1日～2022年3月31日)は、エネルギー関連事業におきまして、国際的な研究開発プロジェクト「ITER(イーター)プロジェクト」関連である研究機関向け核融合関連製品が増加し、売上高は9億6千7百万円(前年同四半期比23.6%増)、セグメント利益(営業利益)は2億1千4百万円(前年同四半期比54.0%増)となりました。

産業システム関連事業におきましては、社会のデジタル化を背景に、半導体市場において先端技術投資や生産能力増強投資等が積極的に進められ、半導体製造装置に対する需要の拡大が続いたことにより、温度センサーおよび加熱機器等の半導体製造装置関連製品が増加し、売上高は13億7千6百万円(前年同期比28.0%増)、セグメント利益(営業利益)は2億7千5百万円(前年同期比38.1%増)となりました。

この結果、売上高は24億1千4百万円(前年同四半期比25.5%増)、営業利益は3億3千2百万円(前年同四半期比82.9%増)、経常利益は3億3千万円(前年同四半期比76.2%増)、四半期純利益は2億2千8百万円(前年同四半期比76.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

総資産は、前事業年度末に比べ4億3千5百万円増加し、68億1千1百万円となりました。これは主に現金及び預金および受取手形、売掛金及び契約資産等の売上債権が増加したことによるものであります。

## (負債)

負債は、前事業年度末に比べ2億9千1百万円増加し、31億6千9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の仕入債務が増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ1億4千3百万円増加し、36億4千2百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益を計上したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ2億8千7百万円増加し、12億8千6百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億2千3百万円の増加(前年同四半期は4億9千5百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の増加(△179百万円)があったものの、税引前四半期純利益の計上(330百万円)、仕入債務の増加(270百万円)および減価償却費の計上(77百万円)によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4千9百万円の減少(前年同四半期は6千9百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(△76百万円)によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8千6百万円の減少(前年同四半期は1億1百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額(△69百万円)によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の業績予想につきましては、2022年2月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	998,836	1,286,562
受取手形、売掛金及び契約資産	1,565,022	1,621,097
電子記録債権	162,044	285,686
商品及び製品	208,805	198,017
仕掛品	321,076	324,783
原材料及び貯蔵品	414,078	461,525
その他	13,698	13,129
流動資産合計	3,683,562	4,190,802
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	700,480	673,894
土地	854,844	854,844
その他（純額）	244,608	240,803
有形固定資産合計	1,799,933	1,769,542
無形固定資産	53,324	49,786
投資その他の資産		
その他	840,058	801,769
投資その他の資産合計	840,058	801,769
固定資産合計	2,693,315	2,621,097
資産合計	6,376,878	6,811,899
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	329,090	480,896
電子記録債務	191,272	310,163
短期借入金	690,000	690,000
1年内償還予定の社債	28,000	228,000
未払法人税等	82,365	121,716
賞与引当金	74,232	77,045
その他	247,757	228,323
流動負債合計	1,642,717	2,136,143
固定負債		
社債	716,000	502,000
退職給付引当金	165,472	173,872
役員退職慰労引当金	337,901	344,314
その他	16,229	13,240
固定負債合計	1,235,603	1,033,427
負債合計	2,878,321	3,169,571

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金	654,553	654,553
利益剰余金	1,835,772	1,994,011
自己株式	△923	△941
株主資本合計	3,410,502	3,568,723
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,054	73,604
評価・換算差額等合計	88,054	73,604
純資産合計	3,498,557	3,642,328
負債純資産合計	6,376,878	6,811,899

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,923,310	2,414,395
売上原価	1,420,415	1,739,145
売上総利益	502,894	675,250
販売費及び一般管理費	321,137	342,734
営業利益	181,757	332,515
営業外収益		
受取利息	1,690	1,500
受取配当金	3,316	3,792
助成金収入	2,920	10,515
雇用調整助成金	4,634	2,630
その他	3,655	3,179
営業外収益合計	16,217	21,617
営業外費用		
支払利息	6,324	6,271
投資有価証券売却損	—	980
固定資産除却損	0	15,560
休業手当	2,449	502
その他	1,479	145
営業外費用合計	10,253	23,459
経常利益	187,721	330,674
税引前四半期純利益	187,721	330,674
法人税、住民税及び事業税	46,374	108,853
法人税等調整額	11,960	△6,840
法人税等合計	58,335	102,013
四半期純利益	129,385	228,660

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	187,721	330,674
減価償却費	63,391	77,702
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△685	2,813
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20,837	8,400
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,667	6,413
受取利息及び受取配当金	△5,007	△5,292
支払利息	6,324	6,271
売上債権の増減額 (△は増加)	△66,952	△179,717
棚卸資産の増減額 (△は増加)	76,634	△40,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	148,982	270,696
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	980
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,243	—
有形固定資産除却損	0	15,560
契約負債の増減額 (△は減少)	56,878	10,857
その他	17,184	△25,778
小計	467,546	479,216
利息及び配当金の受取額	5,010	5,292
利息の支払額	△6,322	△6,256
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	22,698	△69,518
その他	6,924	15,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,856	423,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△67,636	△76,529
無形固定資産の取得による支出	—	△1,307
投資有価証券の取得による支出	△32,155	△29,941
投資有価証券の売却及び償還による収入	30,147	28,131
貸付金の回収による収入	—	30,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,643	△49,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	900,000	900,000
短期借入金の返済による支出	△900,000	△900,000
長期借入金の返済による支出	△3,340	—
社債の償還による支出	△14,000	△14,000
配当金の支払額	△81,279	△69,954
その他	△2,439	△2,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,058	△86,606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	325,154	287,726
現金及び現金同等物の期首残高	659,045	998,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	984,200	1,286,562



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

請負契約等に関して、従来は進捗部分について成果の確実性が認められる契約には工事進行基準を、その他については工事完成基準を適用しておりました。これを第1四半期会計期間より、一定の期間にわたり充足される履行義務は、期間がごく短い請負契約等を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い請負契約等については「収益認識に関する会計基準の適用指針」第95項に定める代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用に関しては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第2四半期累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー 関連事業	産業 システム 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	783,183	1,075,358	1,858,541	64,768	1,923,310	—	1,923,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	783,183	1,075,358	1,858,541	64,768	1,923,310	—	1,923,310
セグメント利益又は 損失(△)	139,228	199,380	338,608	△5,880	332,728	△150,971	181,757

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書の営業利益との差額を調整額として表示しております。調整額△150,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー 関連事業	産業 システム 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	967,744	1,376,905	2,344,650	69,745	2,414,395	—	2,414,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	967,744	1,376,905	2,344,650	69,745	2,414,395	—	2,414,395
セグメント利益又は 損失(△)	214,455	275,404	489,860	△2,974	486,886	△154,370	332,515

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書の営業利益との差額を調整額として表示しております。調整額△154,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注および売上の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エネルギー関連事業	980,459	136.7
産業システム関連事業	1,512,073	149.7
その他	1,292	86.6
合計	2,493,825	144.2

(注) 1 その他のうち飲食店は記載しておりません。  
2 金額は、販売価格によっております。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エネルギー関連事業	991,187	111.1	1,265,127	106.2
産業システム関連事業	1,767,143	166.7	1,535,349	232.9
その他	1,292	86.6	—	—
合計	2,759,623	141.3	2,800,476	151.4

(注) その他のうち飲食店は、一般消費者へ直接販売する飲食事業を行っておりますので、記載しておりません。

③ 売上実績

当第2四半期累計期間における売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エネルギー関連事業	967,744	123.6
産業システム関連事業	1,376,905	128.0
その他	69,745	107.7
合計	2,414,395	125.5

(注) 主な相手先別の売上実績および当該売上実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	売上高 (千円)	割合 (%)	売上高 (千円)	割合 (%)
国立研究開発法人 量子科学技術 研究開発機構	8,384	0.4	356,058	14.7
(株)シンワバネス	312,374	16.2	354,683	14.7